

VISTA 5 ユーザーレポート

株式会社TVQ九州放送 様

VISTA 5



ニュースサブを VISTA 5 で更新



株式会社TVQ九州放送
技術局 技術部
小野 晃生

ニュースサブの更新

TVQのニュースサブは開局以来初の更新を迎えました。デジタル放送化に向けた設備の導入が重なり、仕様を練る時間もなく、実質2ヶ月で全てを決めなくてはいけない状況でした。そのため、音声卓の性能は当然ですが、短期間で私達の提示した仕様に合致したシステム設計と工事がきちんとでき、かつ、気が付かないような部分までフォローしてくれる、そんなメーカーを検討しました。

VISTA 5

以前からSTUDERのVISTA 6や8などに興味は



持っていましたが、ニュースサブではそこまでの仕様は必要ないと思っていました。ところが、2006年の放送機器展で新製品のVISTA 5を見たところ、価格もサイズもコンパクトだったため、一躍候補になりました。実際に、パネルのスイッチは少ないものの機能的にはVISTA 6や8と全く同じであり、I/Oの増設も同様に全く制約がないことがわかりました。アプリケーションソフトも同じです。操作部が音声ミキサー以外の人間にも使いやすい、わかり易い点がとにかく魅力的でした。

また、音声卓はまず「幅1500ミリ以内であること」が絶対的な条件でしたので、モニター棚との干渉、隣接する映像卓との設置位置の整合性、ミキサーの操作に関する各部の角度や寸法をミリ単位で検討し、コンソールの仕様を決めました。完成したコンソールは寸分の狂いもなく、非常に満足できるものになりました。

初期型ゆえの不安

機種を検討していた際、もっとも懸念していたのは、その時点でVISTA 5は日本ではまだ納入実績がないという事実でした。もちろん発売直後ですので当然なのですが、「初期型＝不安定」という私の方程式に見事に合致しており、正直、不安がありました。システム工事を終え、テストラン開始から2日目、それが現実になってしまいまし

た。操作中に突然エラー表示が出てアプリケーションソフトが終了してしまったのです。確かにDSPは処理をし続けているので音声断にはなりませんが、再起動完了までは操作ができません。ちょうど本運用開始の1週間前です。STUDER本社はソフトウェアの異常を認め、4日後に不具合部分を改修したソフトウェアを供給してくれました。すぐにそれに入れ替えて、どうにか予定通りに本運用を始めることができました。

運用開始後

運用開始後はトラブルもなく、はや7ヶ月が経過し、テストラン時の不安も全く解消されました。ニュース、スポーツの受けサブ運用、コメント録りなどに日々使用しています。TVQでは、スポーツについてはデュアル・ステレオ番組とネットへの配信という運用をしています。通常のニュース放送終了直後に、デュアル・ステレオのスポーツ生中継というようなまったく異なった運用もありますが、このような場合でもヒューマンエラーを起こすことなく、安心して操作できることはとても満足できる点です。また野球中継等の際、5.1サラウンドとデュアル・ステレオのいずれにもVISTA 5は即座に対応することができ、本当に柔軟な音声卓であることを改めて実感しています。